

RENÉ LALIQUE

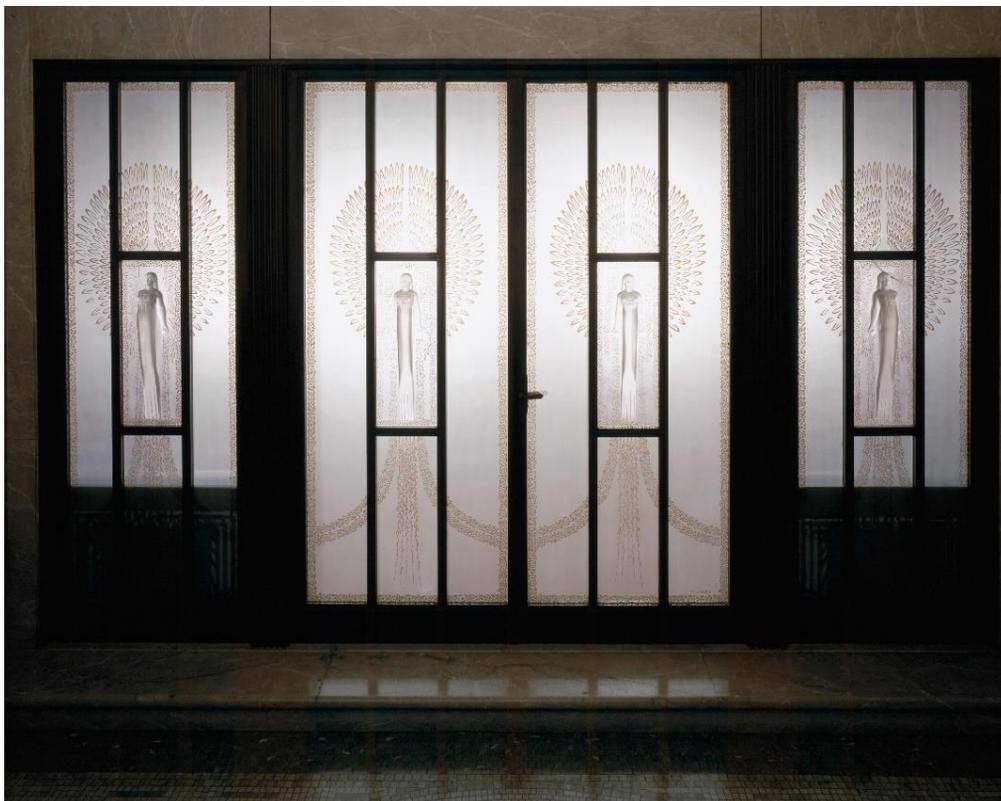
SEARCHING FOR INSPIRATION IN THE TIMES

REMIX

ルネ・ラリック リミックス
時代のインスピレーションを もとめて



2021. 6. 26. SAT. ~ 9. 5. SUN.



展覧会タイトル ルネ・ラリック リミックスー時代のインスピレーションをもとめて
英文タイトル RENÉ LALIQUE REMIX Searching for Inspiration in the times

会 期 2021年6月26日（土）-9月5日（日）
開館時間 10：00-18：00 *入館は閉館の30分前まで
休 館 日 毎週月曜日 *ただし7月26日、8月2・9・30日は開館、8月10日（火）は休館
会 場 東京都庭園美術館 本館+新館
入 館 料 一般=1,400（1,120）円／大学生（専修・各種専門学校含む）=1,120（890）円
中・高校生=700（560）円／65歳以上=700（560）円
※（ ）内は前売りおよび20名以上の団体料金 ※小学生以下および都内在住在学の中学生は無料 ※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料

主 催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
後 援 在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本
年間協賛 戸田建設株式会社、ブルームバーグL.P. **Bloomberg**



※開催内容は、今後の状況により変更になる場合があります。予めご了承ください。

プレス関係各位

日頃より東京都庭園美術館をお引き立ていただき誠にありがとうございます。当館では2021年の夏「ルネ・ラリック リミックス」展を開催いたします。この機会にぜひ貴媒体にてご紹介いただければ幸いです。

展覧会概要

19世紀末から20世紀半ばにかけて、ジュエリー作家／ガラス工芸家という肩書を超えて、生涯を通して芸術家としての独自の道を切り拓いたルネ・ラリック(1860-1945)には、尽きることのないインスピレーションがありました。

とりわけフランス、シャンパーニュ地方の小さな村アイに生まれたラリックにとって、幼少期から身近な存在だった「自然」は、その多様なインスピレーションの根源ともいえるでしょう。自然を注意深く観察することによって培われた眼差しは、やがてイギリスでの経験や日本美術からの影響、大戦間期における古代ギリシア・ローマへの回帰やエキゾチックな嗜好、新しい女性たちのイメージなど、20世紀初頭のフランスに起ったさまざまに異なる芸術潮流と結びつきながら磨かれていきました。例えば浮世絵にインスピレーションを得て、パリ郊外の自邸付近で撮影した雪景色を表現したペンダントや、1909年に他界した妻アリスの面影をシダのなかに刻印した香水瓶。同時代の世界と日常周辺の心躍る事象や個人的な記憶に、鋭い観察眼と想像力によって新しいかたちを与え、「装飾品」として人々の身近なものにしたのです。

希少なジュエリーからより多くの人々のためのガラス作品への転換は、急速に変化する社会のなかで芸術と生活がどのような関係を結ぶことができるのかを示そうとするものでした。生きることとつくること—ルネ・ラリックが、自然を起点としてどのように世界を観照し、装飾という芸術を希求したのかを明らかにします。

ルネ・ラリック
René Lalique
1860-1945

シャンパーニュ地方マルヌ県アイ生まれ。素材の価値よりも作品の造形性を重視し、これまであまり使われてこなかった獣角、オパール、七宝、ガラスなどを積極的に用いて、植物や昆虫、女性、あるいはそれらのモチーフが融合した象徴的なジュエリーを作り出した。「モダン・ジュエリー」のスタイルを確立し一世を風靡した。

1910年前後からガラス作品の制作に注力しはじめる。芸術性が高く、なおかつ量産にも応えることのできるプレス成形や型吹き成形で、香水瓶などの小品からモニュメンタルな建築用の大作までを手がけた。1925年のアール・デコ博覧会場のメイン会場にガラスの噴水塔《フランスの水源》を制作。その傍らには自社のパヴィリオンを出展するなど、アール・デコの時代を代表するガラス工芸家としての絶対的な評価を築いた。

朝香宮邸のために正面玄関ガラスレリーフ扉をデザイン。大客室と大食堂のシャンデリアとしてそれぞれ《ブカレスト》《パイナップルとざくろ》を提供している。



©ラリックジャパン

本展の みどころ

ルネ・ラリックがキャリア初期に手掛けた希少なジュエリー

量産されたガラス作品と異なり、1880年代から1900年代初頭の間制作されたほとんど1点もののラリックのジュエリーは国内外でもとても希少なものです。本展では、20点のジュエリーと2点のデザイン画を公開します。斬新な素材のあつかいと多様なインスピレーションによって、大女優サラ・ベルナールや詩人口ペール・ド・モンテスキューのような同時代を象徴するインテリジェンスに愛されたラリックのジュエリー。「モダン・ジュエリー」の祖といわれるルネ・ラリックのジュエリーを実際に見ることができる貴重な機会です。



ネックレス《二匹のトンボ》c.1900、
個人蔵、協力：アルピオンアート・
ジュエリー・インスティテュート

自然光のなかでみるラリックのガラス作品

ルネ・ラリックの作品は本来建具やプロダクトとして同時代の都市生活のなかで使われていたものでした。1933年、ラリックが生きた時代に建設され、実際にラリックが作品を提供している当館の旧朝香宮邸で、ラリックのガラス作品がもっとも美しく見える自然光のなかで作品を体験できます。



建築家・中山英之による新館ホワイトキューブの展示デザイン

本館の旧朝香宮邸の空間と対照的な新館ギャラリーでは、中山英之による「もうひとつの建物」で、生活の空間で使われてきたラリックのガラス作品と、作品のバックグラウンドを「図鑑」のように体験できる新鮮な展示空間を展開します。ラリック作品の新しい魅力に出会うことができますでしょう。

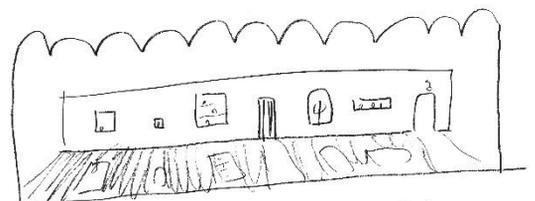


上：東京都庭園美術館「北澤美術館所蔵
ルネ・ラリックアー
ル・デコのガラス
モダン・エレガンス
の美」（2020年）イ
ンスタレーション
ビューより

左：東京都庭園美術館 本館 大客室
シャンデリア《フカ
レスト》

中山英之（なかやま ひでゆき）建築家

1998年東京藝術大学美術学部建築科卒業。
2000年同大学院修士課程修了。伊東豊雄建築
設計事務所勤務を経て、2007年に中山英之建
築設計事務所を設立。2014年に東京藝術大学
美術学部建築科准教授就任。主な作品に
「2004」、「O邸」、「Yビル」、「Y邸」、
「家と道」、「石の島の石」、「弦と弧」、
「mitosaya薬草園蒸留所」、「Printmaking
Studio/ Frans Masereel Centrum (LISTと協
働)」。またポーラ美術館「モネー光のなか
に」展（2021年4月17日～2022年3月30日）
の会場構成を手掛けている。主な受賞にSD
Review 2004 鹿島賞（2004年）、第23回吉岡
賞（2007年）、Red Dot Design Award（2014
年）、JIA新人賞（2019年）、グッドデザイ
ン賞金賞（2019年）、日本仕上げ学会賞
（2019年）。



窓辺にラリックの絵画やオットマンのソファを配す

公式図録の ご案内

■公式図録7月末発行！

展示風景を収録した公式図録を販売します！会場まで足を運べないお客様にも図録にて本展覧会をお楽しみいただけます。

『ルネ・ラリック リミックス』展 公式図録

- ・ 出版社 : 株式会社左右社
- ・ 発行日 : 2021年7月31日 (土) 予定
- ・ デザイン : 岡崎由佳
- ・ 会場撮影 : 三部正博
- ・ 執筆者 : 樋田豊次郎 (当館館長) / ヴェロニク・ブリュム (ラリック美術館館長) / 笥菜奈子 (東海大学教養学部講師) / 池田まゆみ (北澤美術館首席学芸員) / 牟田行秀 (当館副館長) / 田中雅子 (当館学芸員・本展企画者)

関連企画 & プログラム

関連プログラムとして、オンライン・ギャラリートークなどを開催予定です。また教育普及事業として会期中、障害のある方のための鑑賞ツアーや、赤ちゃんとそのご家族の方を対象としたベビーカートゥアなどを企画しています。

※会期中に開催されるプログラムについては、随時追加される予定です。詳細については当館ウェブサイトをご覧ください。 www.teien-art-museum.ne.jp

ご来館の際の お願い

■ご来館予定のお客様へのお願い

当館では、新型コロナウイルス感染症への感染及び拡散を防止し、皆様に安心してご鑑賞いただくため、以下の事項を定めております。また、ご来館時には係員の指示に従っていただきますようお願い申し上げます。

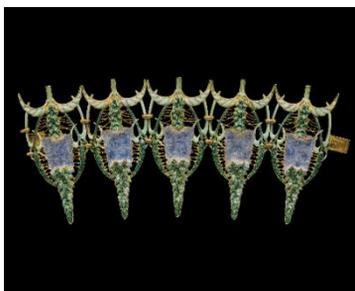
[ご入館に際して]

1. マスク着用と検温
当館にご来館の皆様には、原則としてマスクの着用及び検温を義務付けさせていただきます。マスク着用及び検温に応じてくださらない場合や、37.5度以上の発熱が見られる場合、明らかに体調不良と思われる方については入館をお断りさせていただきます。
2. 建物内人数制限
感染症拡大防止の観点から、建物内へのご入場人数を一定数に制限させていただいております。混雑の状況によっては屋外で入場をお待ちいただく場合がございます。
3. 公開休止エリア
建物の特性上、接触機会の減少及び回避措置を取ることのできない一部の展示室や設備の公開・ご利用を休止させていただいております。
4. 団体での入館制限
団体でのご来館は事前予約をお願いしております。
5. シルバーデー等の当面休止
感染症拡大防止の観点から、シルバーデー及び家族ふれあいの日の割引は当面休止とさせていただきます。

※その他、ご鑑賞の際のお願い等もございます。
詳細につきましては当館ウェブサイトをご確認ください。

◎広報用画像

※このほか各種広報用画像をご用意しています。高解像度データダウンロード専用URLをご案内いたしますのでご希望の方は下記広報担当までご連絡下さい。



1	2	3	4
5	6	7	8

1. バタフライ・ブローチ《シルフィード》1900年頃、個人蔵、協力：アルピオンアート・ジュエリー・インスティテュート
2. ペンダント《冬景色》1898年頃、個人蔵、協力：アルピオンアート・ジュエリー・インスティテュート
3. 香水瓶《シダ》1912年、北澤美術館蔵、撮影：清水哲郎
4. 香水瓶《シダ》（部分）1912年、北澤美術館蔵、撮影：清水哲郎
5. 常夜灯《二羽の孔雀》1920年、大村美術館（角館）蔵
6. 常夜灯《ツバメ》、ほや《つむじ風》1919年、ギャラリー オルフェ
7. プレスレット《ヴェロニカ》1900年頃、個人蔵、協力：アルピオンアート・ジュエリー・インスティテュート
8. 「工芸の中庭」列柱廊・扉装飾パネル《ガラス職人》1925年、大村美術館（角館）蔵

会場情報

東京都庭園美術館 | 東京都港区白金台5-21-9

〔目黒駅〕JR 山手線東口／東急目黒線正面口より徒歩7分

〔白金台駅〕都営三田線／東京メトロ南北線1番出口より徒歩6分

TEL. 050-5541-8600（ハローダイヤル）

Website www.teien-art-museum.ne.jp Follow us on Facebook, Twitter, Instagram @teienartmuseum

お問い合わせ先

東京都庭園美術館 広報担当：板谷、鶴 TEL. 03-3443-0201 Mail. press@teien-art-museum.ne.jp